

平成24年度 北六甲台分区役員名簿

【全体】

担当	氏名	担当	氏名
分区長	生田 收	相談役	蘆田 敏郎
副分区長	田中 弘子	監事	一階 郁子
	横瀬 博		網本 四郎
	印南 博昭		
	田嶋 きぬ子		
会計事務局	本郷 克子		
	井上 さち子		
	守本 博		

【専門部】

担当	氏名	担当	氏名	
広報部	★井澤 淳子	障害者・児支援部	★安谷屋 昇	
	日高 昭夫		井上 さち子(兼)	
	東本 健生		溝口 恵子	
	三又 竹子		笠井 美千代	
	黒瀬 洋子		石田 美代子	
中村 かほり	宗村 泰明			
研修部	★中野 陽子		高齢者福祉部	山田 米子
	瀬戸 泰博			岸本 芳子
	曾我 嘉和			高江洲 晴枝
	栖川 真子			★十鳥 敦
	福井 美也子			山田 末廣
宮本 貴敬	永田 辰雄			
地域交流部 (ふれあい喫茶) 北六甲台	★横井 庄子	ボランティアセンター		国田 順三
	辻田 悦子			山田 啓次
	棚原 利恵子			橋本 清
	松尾 智子			木割 敏男
	荻野 キミ子			★古南 圭子
深川 住江	井澤 淳子			
(ふれあい喫茶) 上山口東	松山 佳代子		小野寺 和子	
	横瀬 道代		深川 住江	
	片桐 文代		山田 万里子	
	若松 純代		溝口 恵子	
	松岡 照美		田中 弘子	
子育て支援部 (ともだちつくり)	★小野寺 和子	井上 さち子		
	山田 ひとみ	横井 庄子		
	黄河 りつ子	本郷 克子		
	東島 典子	渡邊 文子		
	西村 清子	辻田 悦子		
	中崎 いずみ	松山 佳代子		
	中 早苗	横瀬 道代		
	★渡邊 文子			
財務部 (募金・会員会費)	足立 春代			
	葦田 里子			
	中尾 宏樹			
	暮石 良子			
	矢沢 光兼			
	清川 芳子			
	浜田 秀子			
	山田 真理子			

★は部長



第63号
平成24年6月19日
西宮市社会福祉協議会
山口支部北六甲台分区



社協北六甲台分区

第十七回総会を開催

分区長 生田 收

平成二四年度、社協北六甲台分区の代議員総会が五月二十日に開催されました。福寿会の西川幸一氏を議長に、二三年度の事業報告、会計報告、監査報告が承認されました。続いて新役員選出、二四年度事業計画案、会計予算案も承認されました。

以下は承認された主たる事業概要です。

- 地区ボランティアセンター(火・木曜日) 北六安心プラザ 相談・情報提供、ボランティア活動の普及推進、ボランティアによる生活支援等。ボランティアセンターの拠点機能を活用した支援等。(コーディネーター一四名)
- ふれあい喫茶(第二水曜)北六自治会館(第三水曜)上山口安心プラザ 住民同士が気軽に集い、自由に交流すること仲間づくりの場として支援活動。
- 「青い空」障がい者・児支援(毎週月曜日) 北六安心プラザ
- 子育て支援「友だちつくり」(第四金)

- ふれあい交流会 新春の一月下旬に七五歳以上の方々を対象に、ふれあい食事を、一部歳末助けあい募金の交付金を充当して開催します。
- 敬老のつどい(九月一日)北六甲台小学校
- 三世交代交流グランドゴルフ大会(十一月一日) 北六甲台小学校
- 広報紙「ぬくもり」発行
- 福祉講座・ボランティア研修の開催
- 募金活動 日赤募金・共同募金(赤いはね)・歳末助けあい募金
- 山口支部主催「さくら祭」平成二五年四月六日 計画

「社協会員」募集中 一口五〇〇円
地域福祉活動に理解と関心を持ち、会費を納入することで社協活動を支えていただくのが会員会費制度です。昨年度個人会員五二三口・企業会員一六口
地域住民の皆さんのボランティア活動で組織、運営活動している社協分区です。
地域福祉の推進に、日頃ご理解、ご協力頂いております地域の皆さんの、一層のご支援をお願いし、今年度も「誰もが幸せに暮らせるまちづくり」を目標に活動してまいりますので、よろしく

高齢シングル男性向けお食事ボランティア

耳寄りな話を得た。奥さんに先立たれた高齢シングル男性を招いて手作りの食事を提供している女性の話題だった。その食事会の日に、北六甲台三丁目の北川成子さんのお宅を訪問し、ご本人から話を聞いた。

「九年前に主人を亡くし、一人住まいになった。四年ほどの一人暮らしで食事の味気なさが身に沁みだ。奥さんに先立たれ手料理にも不自由な高齢の男性はその想いはもっと強いのではないか。そんな気持ちから近所の老人会所属のシングル男性たちに手料理を提供する食事会を呼び掛



元来、料理が好きで料理教室にも永年通い、多少は自信もあったこともある。平成一九年末に四人のゲストでスタートし、今はシングルさんでない方も含めて六名になった。ゲストの平均年齢は八〇歳位ではないか。毎月一回午後六時から八時頃まで食事と懇親を重ねている。無料で始めたが皆さんがそれでは来づらくなるという事なので、今は毎回会費千円を頂いている。後始末は大変だが、みんな一緒に美味しく食べられることの楽しさは何物にも代え難い。」

午後六時になるとゲストたちが相次いで姿を現した。旅行中のお一人を除いて今回は五名のゲストである。既にテーブルには昨晩から準備を始めたという豪華で多数の品々が並べられている。驚いたことに取材者分まで用意されていた。お断りするわけにもいかないで恐縮しながら一緒に席に着いた。まずはワインで乾杯が恒例とのこと。中々おしゃべりだ。ワインの後にはゲストたちが持参したお酒や焼酎、ホストが準備したプレミアムビールなどが待っている。美味しい数々の手料理をアテにワインやビールを戴きながらゲストたちの声を聞いた。「月一回のこの日が何よりも楽しみで待ち遠しい」「来月はいつにやるのかとついついおしゃべり合わせてしまう」。



北川さんに今後の抱負を聞いた。「このメンバーでいつまでもこの会が続いてほしい」という言葉が返ってきた。

自分の得意な料理という分野で自分自身も楽しむながら高齢シニアさんたちの食事の潤いを提供する。高齢社会を支えるそんな異色のボランティアの実態を垣間見た。

社協トライやる・ウィークの受入れ

中学生たちの障がい者・児とのふれあい

障がい者・児支援部「青い空」 井上さち子

五月二十八日(月)、青い空が広がる午前八時四十分、障がい者・児支援部の「青い空」の開催場所である北六甲台安心プラザに着くと、もう女子中学生たちが「トライやるウィーク」ののぼりを用意して待っていました。

トライやるの意気込みを感じながら、みんなの来る前の準備を指示通りにテキパキと手伝ってもらいました。みんなを待つ間に部長の安谷屋さんから「青い空」の役割や意義、対象者への説明をしてもらいました。

その後、全員で自己紹介をしました。今回のトライやるのメンバーは、中学二年の仲杉さん(テニス部)と菅家さん(バトミントン部)の二名です。支援部の部員の方は、溝口さん、笠井さん、山田さんでした。四名の支援対象者に二名の介護士さん、介護所トライやるの坂上さんの皆さんで午後三時まで過ごすことになりました。



午前中は、千羽鶴の折り紙やチラシでゴミ入れを作ったりしました。午後は、対象者の皆さんの誕生会のケーキサンドを作りました。卵を受け付けられない方なのでサンドウィッチ用パンで作ります。中学生たちには生クリームとあんこを挟む作業を手伝ってもらい、おいしいケーキができました。みんなハッピーパーティーを歌ったりして楽しいひと時を過ごしました。

お二人からは「障がいを持った方たちと楽しく過ごすことができ嬉しかった。みんなの居場所作りの必要性を感じた」といった感想をいただきました。いつまでも手を振りながら帰途につかれました。私たちがトライやるウィークの有意義さを感じながら、最後の後片付けをして「青い空」の一日を終えました。

ご協力
ありがとうございました@

日赤社資募金の結果

(6/10現在)

日赤社資 23,500円

(寄付金を含む)

街頭募金 56,172円

合計 291,172円